

『フォレスト・ガンプ／一期一会』

- 無垢な心が紡ぐ人生
  - 主人公フォレスト
    - 
    - 知能指数は平均より低い
    - 卓越した身体能力と純粋な心
  - 物語の中心
    - 幼なじみのジェニーの関係 — 対照的な二人
    - 愛と友情、自己受容のむずかしさ
  - 
    - 「人生はチョコレートの箱のようなもの。開けてみるまで中身はわからない」
    - 名フレーズ
- 激動のアメリカを生きる
  - 1950年代から1980年代のアメリカの変遷
  - 
    - 公民権運動（1950年代〜60年代）
    - ベトナム戦争（1955〜1975年）
    - ウォーターゲート事件（1972〜1974年）など
    - 転換点に立ち会う
  - 映像の演出
    - 実際の歴史的映像とCG技術を駆使
    - 歴史的瞬間を体験している感覚
- 笑いと涙の人間ドラマ
  - 絶妙なバランス
    - 笑い：大量のドクターペッパーを飲む
    - 感動：フォレストとダン中尉との関係
  - 
    - 平均以下のIQを持つフォレスト役
    - 戯画化することのない演技
    - 人間味あふれる人物として演じきる
    - トム・ハンクス